

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【総括表】

2024 年度分

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	生活協同組合 コープみらい	代表者	代表理事・理事長 熊崎 伸	法人・ 事業所 の特徴	「生協の10の基本ケア」を実践し生活リハビリを念頭においてケアを行っております。皆様に在宅生活を続けて頂く為にスタッフ一人一人がご利用者に寄り添い日頃の業務を行っています。又、四季折々のイベントを行っています。倶楽部活動と称し音楽・園芸等の倶楽部活動を行い、皆様に楽しんで頂いております。
事業所名	小規模多機能ホーム コープ夢みらい北本	管理者	釣 正人		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	人	1人	人	11人	人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>1: 身体状態の変化、ご本人・ご家族からのニーズがあった際は随時職員と協議をそ、サービス内容の見直し及びライフサポートプランの修正ができる様にしている。</p> <p>2: 定期的にカンファレンスの曜日を決めて継続開催、ライフサポートプランに反映できる様にしている。</p> <p>3: 定期的なカンファレンスを継続開催、又、月に1回の職場会にて振り返りや情報共有を継続していく。</p> <p>4: 知名度上昇の為に周知活動を継続していく。又、地域の社会資源を把握、有効活用しながらご利用者の支援を継続していく。</p> <p>5: 介護保険のサービスだけでなく他の社会資源を有効活用しながらご利用者の支援を継続していく。</p> <p>6: R5年5月よりボランティア受</p>	<p>1: 状態変化があった際は職員と確認や情報共有、カンファレンスを基にサービス内容の見直しを随時行い、ライフサポートプランの修正ができています。</p> <p>2: 毎週(火)、音楽倶楽部、ボランティアの方達が来所されている時間を利用して実施できたが、利用者が優先され、定期的に開催できていない月もあった。</p> <p>3: 毎週(火)、音楽倶楽部、ボランティアの方達が来所されている時間を利用して実施してきたが、利用者対応が優先され、定期的に開催できていない月もあったが、職場会にて振り返りや情報共有は継続的にできている。</p> <p>4: 居宅・地域包括・医療機関へのダイレクトメールの送付の実施及び居宅・包括への訪問営業活動を実施。</p> <p>5: 介護タクシー、配食サービス、訪問美容等の地域の社会資源を</p>	<p>1: 全職員で情報共有を図り、課題を抽出、カンファレンスを通して問題解決に向けて協議を、サービス内容の見直し、ライフサポートプランは随時修正をしている。</p> <p>2: カンファレンスは開催できていたとしても出勤していない職員がいると意見が反映しにくい。</p> <p>3: カンファレンスを開催する時間を生み出す事ができておらず、統一したケアができていない。ご本人の気持ちに寄り添う気持ちが持っているが、カンファレンスで共有するだけでケアに反映されていない。</p> <p>4: 新規のご利用者をご紹介頂くには定期的な訪問営業の継続が必要。</p> <p>5: ケアマネ以外の職員が社会資源について知識が少なく、カンファレンス際に考えが至らない事が有り。社会資源を学ぶ機会が無</p>	<p>1: カンファレンスが開催できる様に音楽倶楽部の開催時、ボランティアの方が来所されている際は必ずカンファレンスが開催できる様に朝礼時に職員へ伝え、開催時間になったら直ぐにできる様に体制を整えておく。</p> <p>2: 定期的にカンファレンスの曜日(火曜日・随時)を決めて可能な限り行い、ケアプランに反映できた為、今後も継続していく。職員全員で継続的なアセスメントを実施する事で深堀をし、本人・家族の意向を汲み取り、自己実現に、向けて支援をしていく。</p> <p>3: カンファレンスが開催できる様に音楽倶楽部開催時、ボランティアの方が来所されている際は必ずカンファレンスが開催できる様に朝礼時に職員へ伝え、開催時間になったら直ぐにできる様に体制を整えておく。</p> <p>4: 地域の社会資源を知る為に職</p>

	<p>け入れを再開、地域交流スペース開放・貸出しを継続する事で地域住民が気軽に来所・利用できる様にしていく。</p> <p>7：隣接している公団団地自治会と共同で実施できるイベント等を企画して検討できる様にしていく。又、地域のイベントの情報収集をして参加できる様にしていく。</p> <p>8：外部研修を受講する事ができていない為、外部研修を受講できる様な体制を整備する事で個々のスキルアップを図っていく。</p> <p>9：個人情報の管理を継続を徹底しながら日々の業務を行っていく。</p>	<p>提案・情報提供により利用して頂き、支援を継続している。</p> <p>6：R5年5月よりボランティアの受け入れの継続、地域交流スペースの開放・貸し出しにより R6年5月から北本社協包括のオレンジカフェを開催、お手伝いの継続、又、R6年4月に公団団地住民の方の絵画展を地域交流スペースにて2日間開催。</p> <p>7：公団団地自治会との共同のイベント企画・開催はできなかった。又、地域のイベントの参加もできなかった。</p> <p>8：他生協主催の生協10の基本ケアの研修に参加する事ができたが、個々で外部研修に参加する事がほとんどできなかった。</p> <p>9：個人情報の保管は徹底してできているが、タブレットやファイルが開いた状態が多かった。</p>	<p>い。</p> <p>6：R5年5月以降は定期的にボランティア（小学生の合唱団等）の受け入れの継続、地域交流スペース貸し出しの継続ができていく。</p> <p>・北本社協包括主催のオレンジカフェを開始してから事業所を訪れる方が増加している。</p> <p>7：シフトの都合等で公団団地自治会と共同でのイベントへの参加、地域のイベントへの参加ができていない。</p> <p>8：毎月の職場会にて研修が実施しているが、外部研修が受講できていない</p> <p>9：タブレットやファイルを開いたままその場を離れてしまう事がある。又、プライバシー等の意識できていない職員がいる。</p>	<p>場会等で情報共有を図っていく。</p> <p>・今後も知名度を上昇させる為には居宅・地域包括・医療機関への訪問営業を継続していく。</p> <p>5：職場会等で地域の社会資源について情報提供をして職員へ知識を深められる様にしていく。</p> <p>6：北本社協等が主催している福祉祭り等の関係性が深い分野のイベントへ施設として参加できる様にしていく。又、公団団地のお祭り等に参加させて頂く事で周知活動の一環としてアピールできる様にしていく。</p> <p>7：公団団地自治会と協議をしてイベント企画・参加ができる様に事、地域住民が消防訓練に参加できる様に対応を検討していく。</p> <p>8：国家資格等の取得を促進させる様に職員へ声掛けや個々のスキルアップの為に研修受講ができる様にシフトや体制を整えていく。</p> <p>・地域・地区で開催している連絡会等になるべく参加ができる様にシフトや業務を調整していく。</p> <p>9：職場会で等でタブレットのクローズやファイルを開いたままにしない様に情報共有を図っていく。</p>
<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<p>地域の方が気軽に来て頂ける様に環境を設定、介護相談等を設定をする。</p>	<p>ボランティア受け入れの継続、地域交流スペースの開放・貸し出しの継続。</p>	<p>・施設内でお祭りやイベントを開催して地域の方達が来所する事で知名度が上がったり、口コミで知名度が広がっていくと思う。</p> <p>・公団団地のEラウンジで介護相談会・健康相談会を実施、各専門職を配置すると集客が見込める。</p>	<p>地域の方達が気軽に施設に入っていける様に敷居が低い施設になれる様にしていく為に公団団地自治会から公団団地住民へ夢みらい通信・倶楽部活動カレンダーへの配布の継続にて周知活動も継続、</p>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>地域の催し物やイベントに参加する。</p>	<p>コロナ感染拡大防止の為に地域のイベントや交流に参加できなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公団団地の中庭は頻回にイベントを開催している為、中庭へ訪問し夢みらい北本のチラシ配布をして知名度上昇に繋がるのではないか。 ・まずは地域で開催しているイベントへ出向いて事業所の知名度を上げる事や顔を覚えてもらう事が大切ではないか。 ・北本介護センター全体でイベントを開催し、地域住民を招待して地域との関わりを作っていく。イベントを通して口コミで知名度が広がっていくと思う。 ・他福祉事業所の利用者を連れて中庭のコーヒーを飲みに出掛ける事で地域との関わりを持っている。 ・パーキンソン病の体操教室を開催している事業所もある。 ・公団団地では修繕交換会（水道・ガス等）をを実施すると100名くらい住民が来所される。水道屋、ガス屋等の各専門家が説明をしてくれる事で生活に関する為、住民の関心度や興味が凄くある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベント等に参加できる様に調整・検討をしていく。 ・公団団地の掲示板へ夢みらい通信・倶楽部活動カレンダーを掲示する旨を検討していく。 ・R7年3月から近所の方向けへ避難訓練への案内通知を近所の方に参加をして頂く為に作成し、施設の入口へ掲示を実施して周知をした。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>地域の方と触れ合えるイベントを検討をする。</p>	<p>地域のイベント開催日程を把握できていない事、シフトの関係等で地域のイベントや交流に参加できなかった。</p>	<p>北本公団団地のEラウンジで定期的な介護相談会や健康相談会を開催してみてもどうか。Eラウンジは現在、若い方達も利用できる様にしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・R7年3/6（水）、地域の方向けのイベントをコープ北本店にて「歩行年齢測定会」及び北本介護センター・夢みらい北本合同で介護相談会を開催。 ・夢みらい通信・倶楽部活動カレンダーへオレンジカフェのアンナウンスを掲載し、家族や地域の方達への参加を促した。

E. 運営推進会議を活かした取組み	会議の際に委員の方々から出た意見を基に随時検討をする。	会議で出た質問等に対して随時対応を検討・改善を実施していく。	公団団地等の地域の防災訓練に参加した事が無い。	会議で出た質問等に対して随時対応を検討し事業所運営に反映をさせていく。
F. 事業所の防災・災害対策	年に2回は必ず防災訓練（通報訓練・避難訓練・消火訓練）を北本介護センター全体で実施していく。	R5年5月以降は年に2回の防災訓練時は消防署員の同席の元で継続的に実施できている。	シフトの関係で防災訓練時は全職員が参加できていない。	今後も年に2回は北本介護センター全体及びご利用者の参加も含めて消防署員立ち合いの元で防災訓練（通報訓練・避難訓練・消火訓練）を継続していく